

# でんさい利用企業からの事例紹介

2017年11月27日

株式会社小園硝子商会

# 目次

---

1. 会社概要
2. 事業紹介
3. ガラスからはじめる防災対策
4. 当社の取引状況（でんさい導入前）
5. でんさいの導入
6. 当社の取引状況（でんさい導入後）
7. でんさい導入のメリット
8. 今後の課題

# 1. 会社概要

○社名	株式会社小園硝子商会
○設立	大正11年7月（創業） 昭和43年8月（株式会社化）
○所在地	鹿児島市卸本町5番地20
○代表者	代表取締役社長 小園 洋平
○資本金	30百万円
○社員数	92名
○事業内容	板硝子、サッシ、住宅設備機器の販売 複層硝子(JIS規格：R 3209 TC0806004)の製造、販売 板硝子、サッシ工事の請負施工
○主要取引先	(株)LIXIL、旭硝子(株)、三協立山(株)、YKK AP(株) 清水建設(株)、(株)竹中工務店、(株)大林組、鹿島建設(株)など

# 1. 会社概要

## 営業拠点



沖縄営業所



福岡営業所



出水営業所



霧島営業所



本社(鹿児島市)



宮崎営業所



鹿屋営業所



## 2. 事業紹介

### 施工事例



鹿児島市立病院



鹿児島新港



マルヤガーデンズ



かごしま環境未来館



NHK鹿児島放送会館



鹿児島県民交流センター



鹿児島地方裁判所



鹿児島県庁

### 3. ガラスからはじめる防災対策



2015年8月15日10時15分  
桜島噴火警戒レベル4に引き上げ  
(気象庁)

2017年7月11日11時56分  
鹿児島湾内を震源とする最大震度5強、  
マグニチュード5.2の地震発生

### 3. ガラスからはじめる防災対策

## 万が一の時に避難所は安全でしょうか？

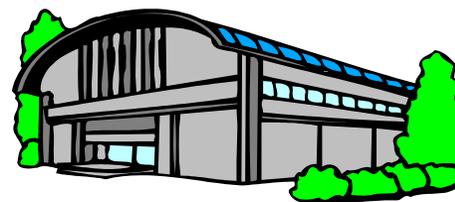
避難場所と聞くと、以下を想像されると思いますが….



市役所等の施設



病院、救急医療施設



小・中学校など

時を選ばずに発生する自然災害。

ガラスの種類によっては、避難所が肝心な時に使えなくなってしまう可能性があります。

⇒ 現在どのようなガラスが入ってますか？

### 3. ガラスからはじめる防災対策

## ■ガラスの破損事例（H28熊本地震）

【フロート板ガラス】 参考写真・熊本地震時の避難所グランメッセ熊本



明り取り窓、エントランスなど  
ガラスが破損し、破片が内部に  
飛散して、内部が避難所として  
使用できない。

【合わせガラス】 参考写真・熊本地震時の九州新幹線熊本駅



合わせガラスを使用した  
ペDESTリアンデッキ  
（歩行者用高架通路）  
破損しているが貫通していない。  
マンションバルコニーでも近年多用  
されている。

# 3. ガラスからはじめる防災対策

## 避難所としての学校施設に使われているガラス

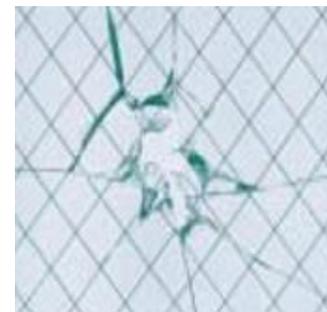
### 強化ガラス

学校施設に最も多く使われている。破損すると破片が粒状になるので、大きなケガが起きにくい。



### 網入ガラス

防火が必要な部位の窓に使われる。金網が入っていて、一見すると強そうだが、防犯や飛来物を防ぐ効果は無い。



### フロート板ガラス

比較的古い学校に、使われている場合が多い。耐震化、安全対策として飛散防止フィルムが貼られるが、フィルムの耐用期間が過ぎると、貼り替えが必要とされている。



### 合わせガラス

新しい学校での採用が増加中。2枚のガラスが中間膜で接着されているため、衝撃物の貫通や、破片の飛散を抑える。飛散防止フィルムのような貼り替えは不要。



**コレが  
おすすめ！**

### 3. ガラスからはじめる防災対策

## 避難場所の窓ガラスに最適な「合わせガラス」

- ▶ 地震・台風・衝突に強い安全・安心ガラス
- ▶ 「防災に有効なガラス」という認識が広がりつつある

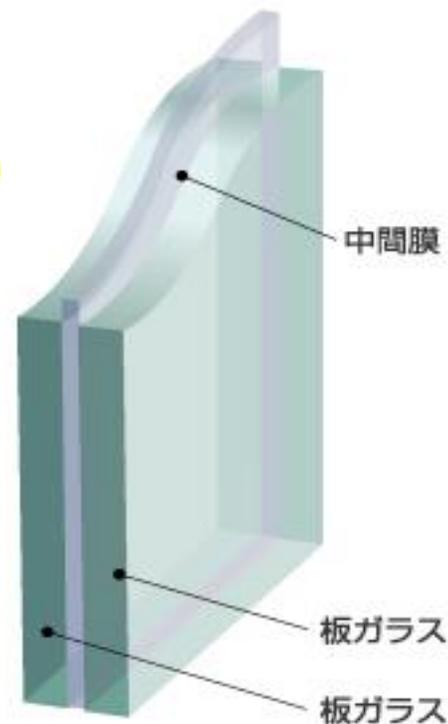
2枚のガラスの間に  
強靱な中間膜を挟んで、加熱・圧着したガラス

■ **衝突物が貫通しにくく、ガラスが飛散しにくい**  
飛来物の衝突などによる被害を最小限におさえる。

■ **ガラスが窓枠から抜け落ちにくい**  
被災後も、継続して部屋を使用できる。

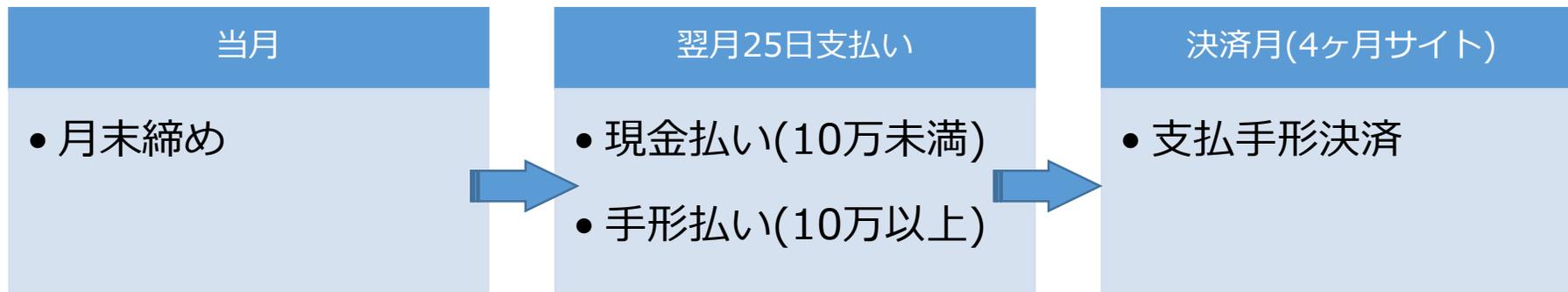
■ **防犯にも効果的**  
ガラス破りの侵入から守る。

自動車の  
フロントガラスと  
同じ構造です



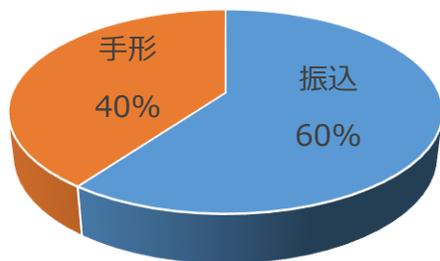
## 4. 当社の取引状況（でんさい導入前）

### ◎ 支払い状況

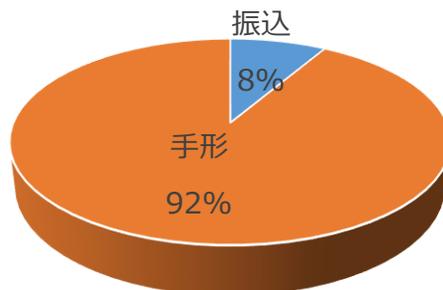


お取引先ゼネコンからの支払いが手形(手形割合70~100%・4ヶ月サイト)のため、当社の買掛金支払いにおいても、手形の利用が必要不可欠。

支払件数



支払金額



※2016年度平均

- 手形印紙代(年間) 約1,180千円
  - 手形郵送料(年間) 約235千円
- ⇒ 手形の振り出しに伴う

経費、事務負担が大きい

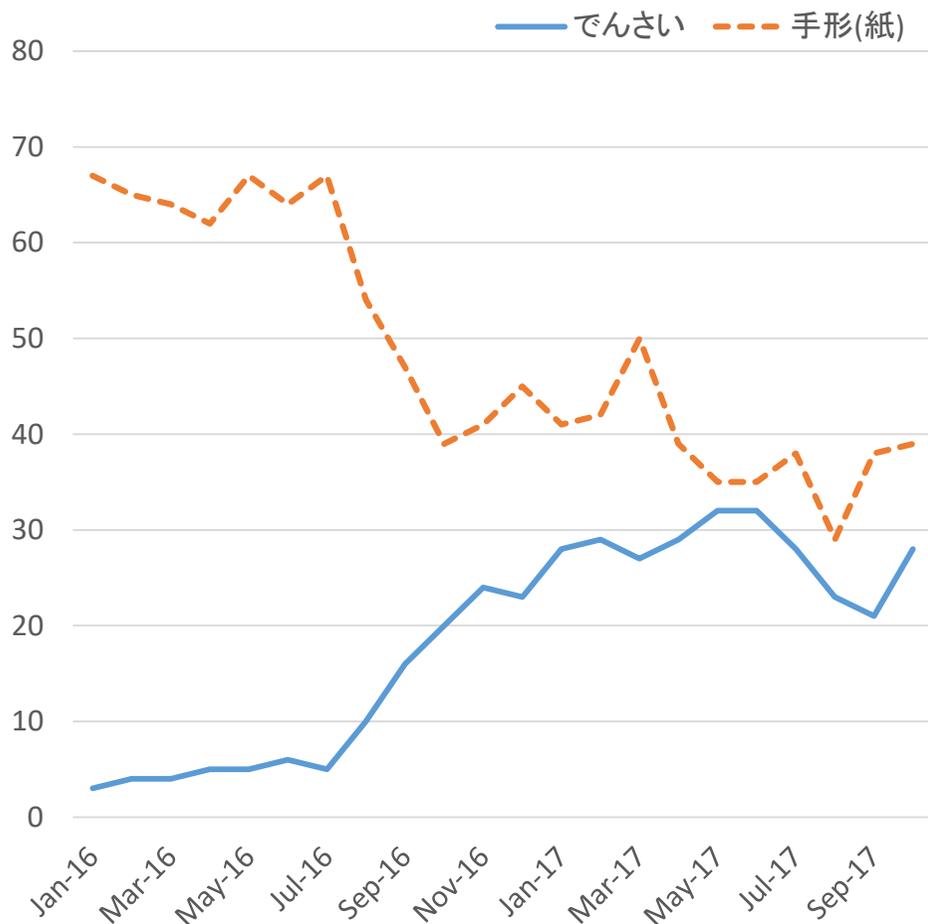
## 5. でんさいの導入

お取引先ゼネコンが支払手形の電子化を進めており、今後取引を続けていくうえで、当社においてもでんさいの導入は最重要課題となっていた。

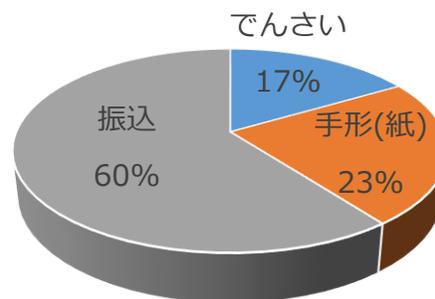
2013年7月	<ul style="list-style-type: none"><li>・ でんさい利用開始</li></ul> <p>従来から取引先銀行のFBサービスを利用しており、でんさいについてもスムーズに導入できた。(初期コスト不要)</p>
2013～2017年	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 主に受取手形において、でんさいを活用(受身のでんさい導入)</li></ul>
2017年7月～	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 経費と事務負担の削減の観点から、支払手形においても、でんさいへの全面移行を開始。(攻めのでんさい導入)</li></ul> <p>お取引先100社超に、TEL・FAXにより一斉呼びかけを行い意向確認 ⇒ 鹿児島銀行FBセンター様のご協力もあり、約40%のお取引先が応諾。</p>

## 6. 当社の取引状況（でんさい導入後）

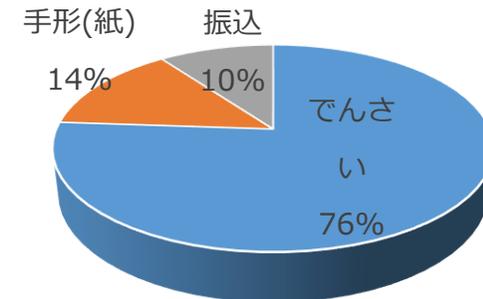
### でんさい支払件数の推移



### 支払件数



### 支払金額



※2017年度平均

- 手形印紙代(年間) 約180千円(▲1百万円)
  - 手形郵送料(年間) 約98千円(▲137千円)
- ⇒ 合計 約1,137千円の費用削減！！
- 支払金額が大きい主要取引先のほとんどが、でんさいに移行したため、印紙代の大幅な節約につながった。

# 7. でんさい導入のメリット

## 業務フローの比較

### 手形

手形帳の購入、管理

手形の発行  
(管理システムからデータ出力・プリンター印刷)

印紙貼付

押印

封筒詰め、郵送

手形現物の管理・保管(債権者)

領収書発行(債権者)

期日に決済(債権者は銀行窓口到手形持参)

### でんさい

「手形帳紛失」「手形が足りなかった！」ミス防止①

WEB上で支払情報を入力(担当者)

チェック・承認(管理者)

「印紙の金額間違い」「印鑑押し忘れ」ミス防止②

「手形の送り先を間違えた！」ミス防止③

「手形の金額が間違っていますよ！」ミス防止④

「手形を失くした！」リスク防止①

「手形を銀行に持っていかなきゃ！」リスク防止②

期日に決済(債権者口座に自動振込)

**作業負担の軽減とともに、重大なミスやリスクの防止に役立つ！**

## 8. 今後の課題

### 手形の100%ペーパーレス化の実現

- ・でんさいへの移行が進んできたとはいえ、当社の手形の発行件数は、いまだに毎月40件弱。
- ・再度お取引先への周知活動と呼びかけを行い、100%ペーパーレス化を目指していきたい。
- ・でんさい導入を躊躇されているお取引先の中には「回し手形として活用できない(支払先がでんさいに対応していない)」というお声もいただいている。でんさいの回し手形としての機能・利便性を向上させるには、地域全体としてでんさい利用率を高めていく他ない。

### 一括請求システムの導入

- ・でんさいの利用件数は毎月30件程度。数字の入力を全て手作業で行っている。  
(今までは月数件の利用だったので、特に負担にはならなかった。)  
(当社は硝子販売管理システムと、一般的な会計ソフト(勘定奉行)を橋渡りする固有の会計システムを採用しているため、一般的に使用されているソフトウェア「一括請求Assist」に対応していない)
- ・今後は、当社会計システムから、でんさいネット標準フォーマットを直接出力できる体制を整えたい。



ご清聴ありがとうございました。